

# 小野町地域防災計画を見直しました

令和元年東日本台風(台風19号)をはじめ、近年、多発する異常気象に対し、「自分の命は自分で守る」という自助の意識を高く持ち、自分の住む地域の災害リスクを把握し、災害時には近所や地域全体が連携して適切な避難行動をとることができる近助・共助の体制づくりが強く求められている中、小野町地域防災計画を見直しました。

## 【見直しまでの経緯】

1 自主防災会会長との意見交換会  
(1月10日)

◎令和元年東日本台風(台風19号)で見た課題や台風・前線の通過により水災害発生の際における避難施設などについて意見交換を実施しました。

## 【小野町地域防災計画見直しの概要】

①避難の勧告・指示についての見直しおよび修正

防災基本計画および福島県地域防災計画で見直した内容を踏まえ、防災気象情報や避難に関する情報などを勘案し、災害の切迫度に応じて5段階の警戒レベルにより提供します。

②避難所の見直し

現在避難所としている町内小学校の廃校に伴い、施設管理の観点から避難所の見直しを図りました。町内12カ所を避難所とし、行政区、地区に応じた避難所をあらかじめ設けることにより、より安全に避難できる体制としました。

③災害見舞金制度の追加

町内で発生した自然災害により住み慣れた住家に被害を受けた世帯に対し、被災者の経済的負担軽減を図るため、災害見舞金制度を新たに設けたことから当計画に反映しました。



2 令和元年度小野町防災会議  
(1月30日・2月25日)

◎国の防災基本計画、福島県の地域防災計画や自主防災会会長との意見交換会の内容を踏まえ小野町地域防災計画を見直しました。

なお小野町防災会議委員は、次ページの表のとおりです。(敬称略)

## 【防災ガイドブック・防災マップについて】

県から土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域が順次指定されるとともに令和2年3月に右支夏井川に係る洪水浸水想定区域が新たに指定されたことに伴い、平成26年3月に策定した小野町防災ガイドブックについても見直しを行いました。

また日頃から防災意識の醸成を図るため、小野町防災マップも作成しましたのでご自宅の目立つ所に貼っていただき、日頃からの備えにご活用ください。



自主防災会会長との意見交換会



防災会議の様子